

財 政 事 情 書

平成 2 1 年 5 月

平成 2 1 年度当初予算

平成 2 0 年度下半期予算

日 立 市

目 次

1	予算編成の基本的な考え方	2
2	一般会計予算	3
(1)	歳入	3
(2)	歳出	10
3	特別会計予算	16
4	企業会計予算	28
5	平成21年度の主な施策の概要	29
6	平成20年度予算に対する下半期収入支出の状況	38
(1)	一般会計	38
(2)	特別会計	40
7	市民の市税負担の状況	41

平成21年度当初予算について

1 予算編成の基本的な考え方

平成21年度の地方財政は、地域雇用創出推進費を特別枠として創設し、現下の厳しい経済情勢や雇用情勢を踏まえ、生活防衛のための緊急対策を実施するとともに、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源の総額を確保した一方で、引き続き生じることとなった大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないよう財源対策債や臨時財政対策債の発行などで補填することとしております。

本市においては、世界経済の減速に伴う景気後退の影響などから、法人市民税をはじめとする市税の大幅な減収が見込まれますが、単に歳出を削減するのではなく、基金からの繰入金や市債発行などで財源を確保することにより、産業力の強化、防災体制の充実及び学校教育施設の耐震化など本市の持続的な発展に必要な施策や当面の課題に取り組むこととしました。

一般会計は、前年度に比べ22億6,100万円増(3.9%)の605億400万円となりました。また、特別会計と企業会計(水道、下水道、工業用水道)を合わせた予算額は、前年度に比べ25億538万円増(6.0%)の442億6,071万円となっています。

全ての会計を合わせた予算額は、47億6,638万円増(4.8%)の1,047億6,471万円となります。

なお、一般会計、特別会計及び企業会計の平成21年度当初予算額は、次のとおりです。

<平成21年度会計別当初予算額>

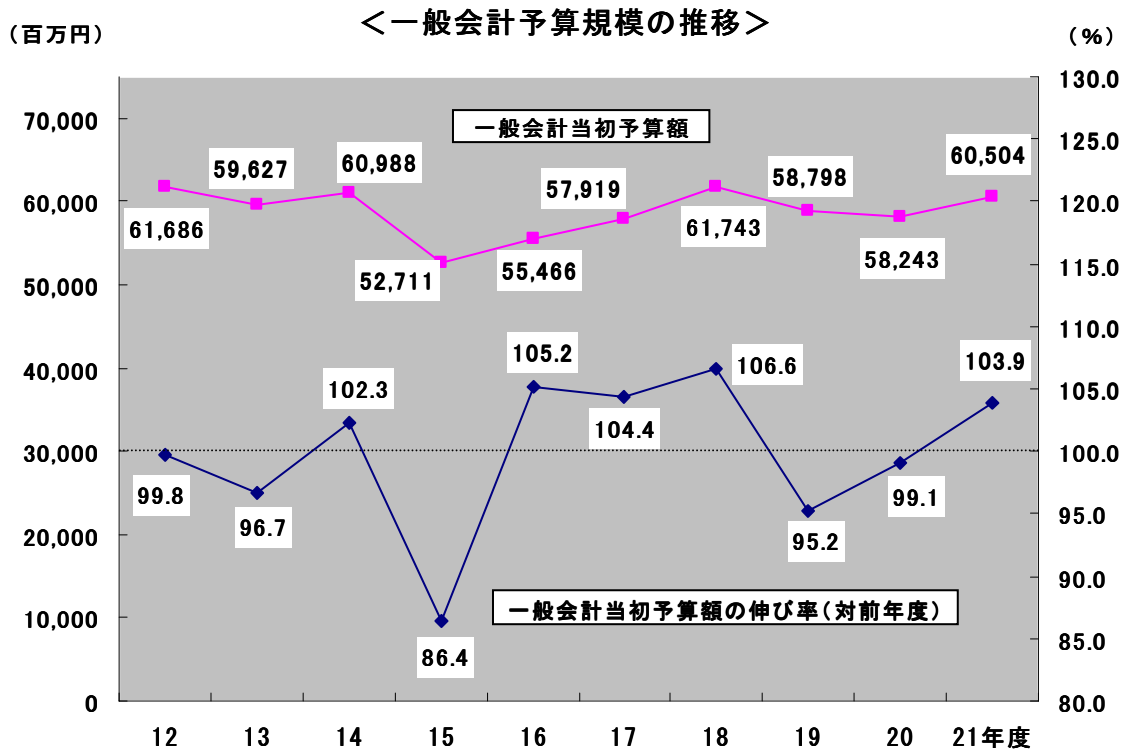
(単位：千円)

会計別	21年度(A)	20年度(B)	比較 (A) - (B)	前年度比 (A) / (B) %
一般会計	60,504,000	58,243,000	2,261,000	103.9
特別会計	28,102,083	28,789,981	△687,898	97.6
企業会計 (水道・下水道・工業用水道)	16,158,623	12,965,347	3,193,276	124.6
総 額	104,764,706	99,998,328	4,766,378	104.8

特別会計：国民健康保険事業、動物園事業、簡易水道事業、公設地方卸売市場事業、老人保健事業、介護保険事業、介護サービス事業、戸別合併処理浄化槽事業、後期高齢者医療事業、霊園事業

2 一般会計予算

一般会計予算には、地方公共団体の行政運営の基本的な経費が中心として計上されており、予算の本体をなすものです。平成21年度当初の一般会計予算額は、605億400万円で、平成20年度当初に比べて3.9%の増となっています。



(1) 歳入

一般会計の歳入の主なものは、市税290億7,418万円、地方交付税37億円、国庫支出金57億9,746万円、繰入金59億6,147万円、市債43億20万円などです。このうち本市歳入の最も大きな割合を占める市税収入は、景気悪化の影響などにより、法人市民税の大幅な減少が予想されることから、前年度に比べ15億4,696万円の減(△5.1%)となる見込みです。

また、地方交付税は、市税の減収や国の生活防衛のための緊急対策に基づく「地域雇用創出推進費」の創設などより、前年度に比べ5億円の増(15.6%)となる見込みです。

一方、市税、使用料など市が自らの手で確保できる収入(自主財源)は409億8,113万円で、歳入全体に占める割合は67.7%となっています。これに対し、国庫支出金、地方交付税、市債など国・県から決められた額を交付されたり、割り当てたりする収入(依存財源)は195億2,287万円で、歳入全体に占める割合は32.3%となっています。

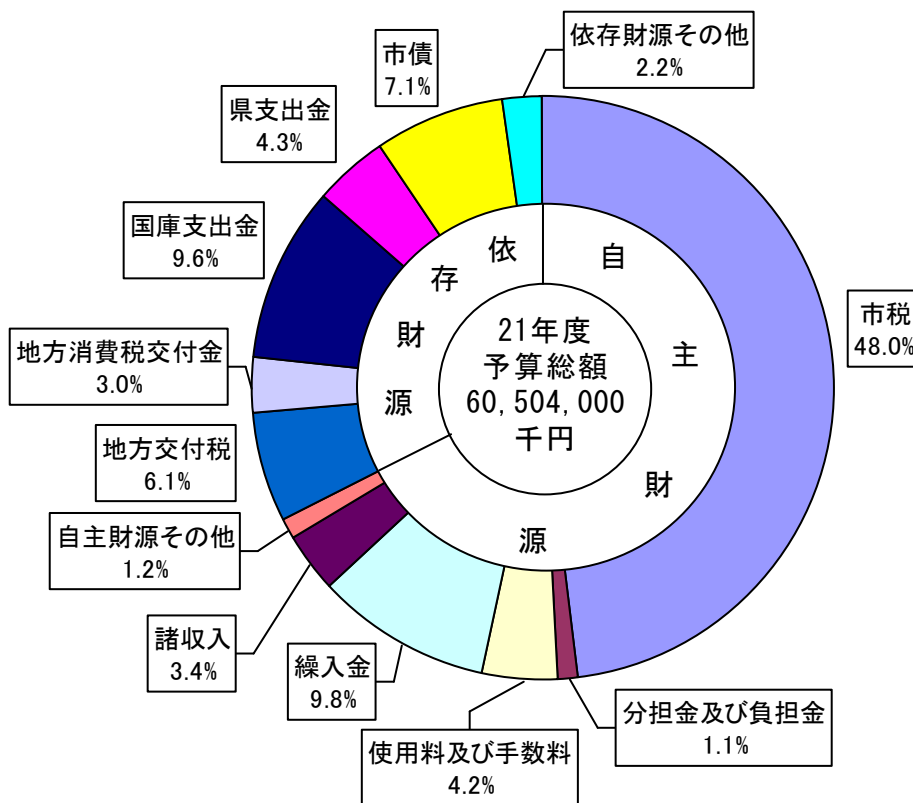
なお、一般会計歳入予算の内訳は次の表のとおりです。

<一般会計歳入予算の内訳>

(単位：千円)

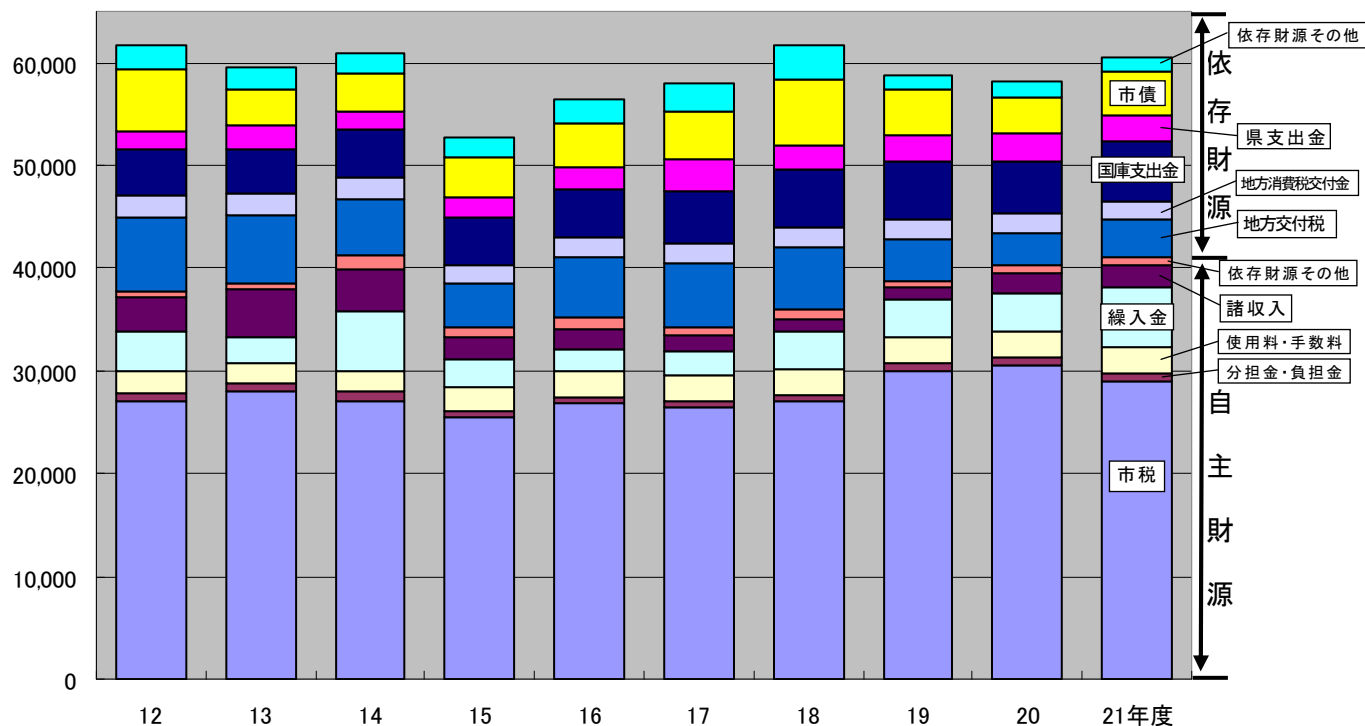
区 分	予 算 額		比 較	前年度比 (%)	構成比 (%)
	21年度当初	20年度当初			
市 税	29,074,177	30,621,139	△1,546,962	94.9	48.0
地 方 譲 与 税	616,000	692,000	△76,000	89.0	1.0
利 子 割 交 付 金	112,000	95,000	17,000	117.9	0.2
配 当 割 交 付 金	36,000	134,000	△98,000	26.9	0.1
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	14,000	68,000	△54,000	20.6	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	1,800,000	1,932,000	△132,000	93.2	3.0
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	40,000	50,000	△10,000	80.0	0.1
自 動 車 取 得 税 交 付 金	168,000	302,000	△134,000	55.6	0.3
地 方 特 例 交 付 金	280,000	270,000	10,000	103.7	0.5
地 方 交 付 税	3,700,000	3,200,000	500,000	115.6	6.1
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	45,000	50,000	△5,000	90.0	0.1
分 担 金 及 び 負 担 金	660,087	660,781	△694	99.9	1.1
使 用 料 及 び 手 数 料	2,527,776	2,581,736	△53,960	97.9	4.2
国 庫 支 出 金	5,797,464	5,135,941	661,523	112.9	9.6
県 支 出 金	2,614,208	2,702,974	△88,766	96.7	4.3
財 産 収 入	397,511	413,687	△16,176	96.1	0.6
寄 附 金	100	100	0	100.0	0.0
繰 入 金	5,961,469	3,664,755	2,296,714	162.7	9.8
繰 越 金	300,000	300,000	0	100.0	0.5
諸 収 入	2,060,008	1,968,687	91,321	104.6	3.4
市 債	4,300,200	3,400,200	900,000	126.5	7.1
総 額	60,504,000	58,243,000	2,261,000	103.9	100.0

＜自主財源・依存財源別構成比＞



＜歳入の款別予算額の推移＞

(百万円)



次に、主な歳入科目について内容を見てください。

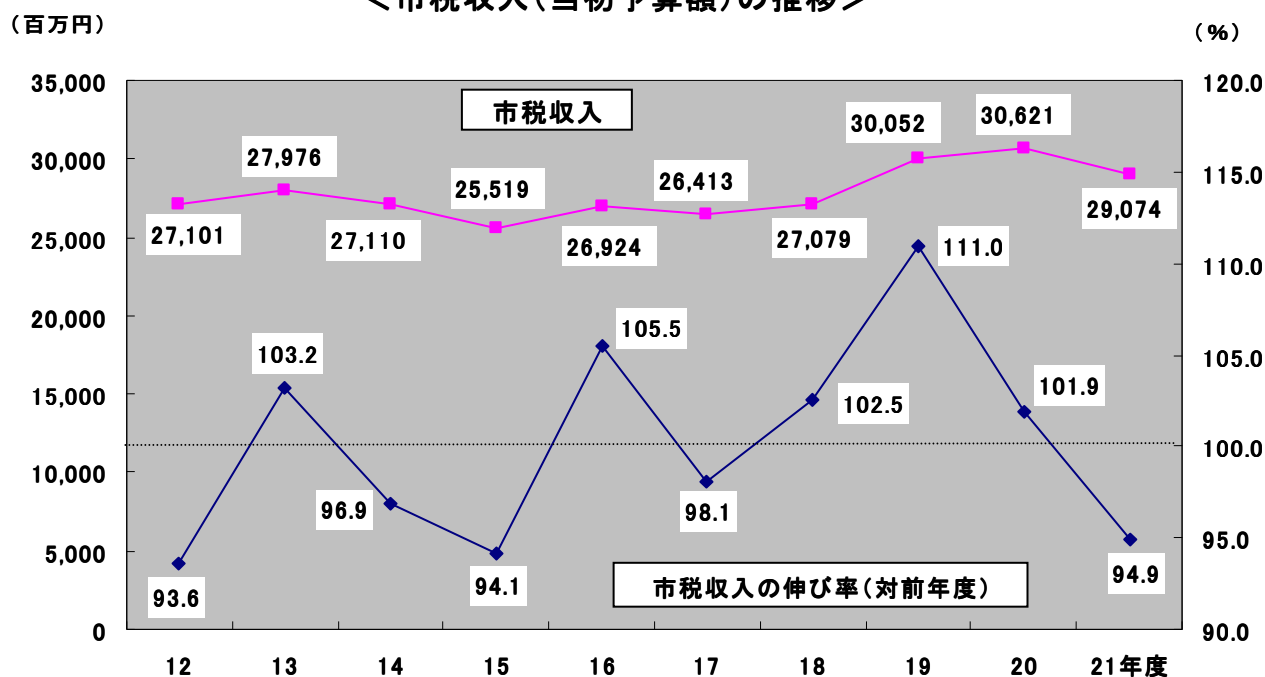
ア 市税

平成21年度の市税の予算額は290億7,418万円で、前年度予算額の306億2,114万円と比較すると15億4,696万円の減(△5.1%)となっています。歳入全体に占める割合は48.0%で、前年度(52.6%)に対して4.6ポイント減っています。

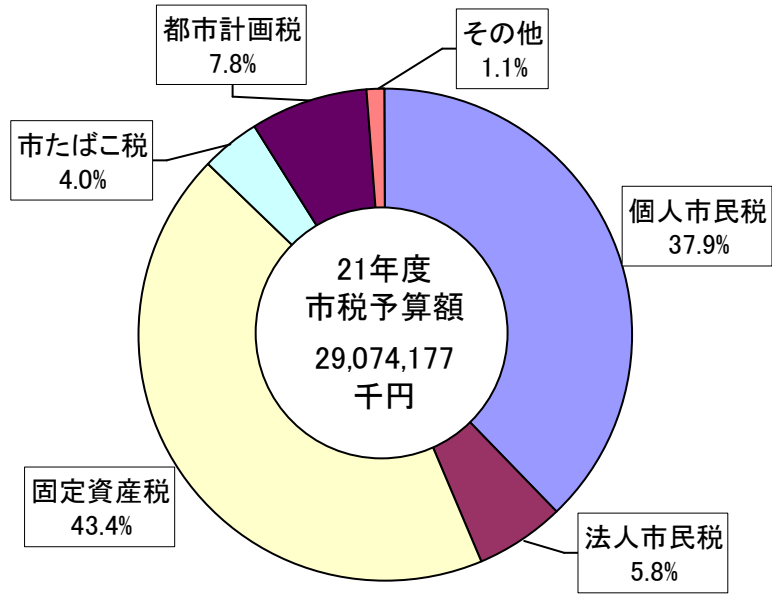
主な税目についてみると、市民税のうち、個人市民税が前年度と比較して9,300万円増(0.9%)の110億1,000万円、法人市民税が12億7,200万円減(△42.9%)の16億9,200万円となっています。

また、市税の予算額の約4割を占める固定資産税は、評価替えの影響などにより3億505万円減(△2.4%)の126億3,539万円となっています。

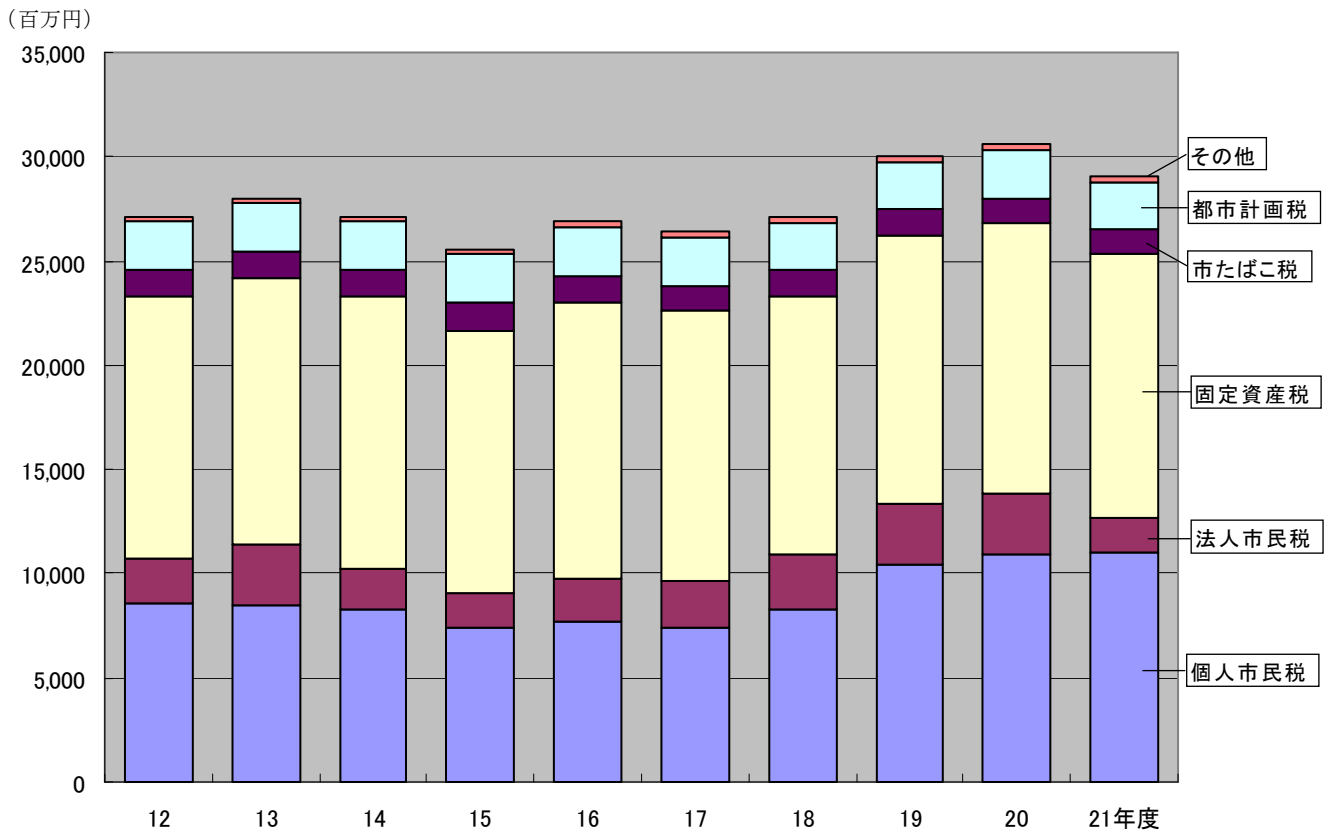
＜市税収入(当初予算額)の推移＞



<市税の税目別構成比>



<市税の税目別予算額の推移>



イ 地方交付税

地方交付税は、国がどの地域に住む住民にも標準的な行政サービスや道路等の社会資本を提供することができるように、国税の一定割合を収入の足りない地方公共団体に交付するものです。地方公共団体が自ら徴収した地方税同様、どのような使途に充てるかは、その地方公共団体に任されています。

地方交付税の平成21年度の予算額は37億円で、歳入全体の6.1%を占めています。

平成21年度は、法人市民税などの市税の減収や国の生活防衛ための緊急対策に基づく「地域雇用創出推進費」の創設などにより、財源不足額の増加が見込まれるため、前年度予算額（32億円）と比較すると5億円の増（15.6%）となっています。

ウ 国庫支出金

国庫支出金は、国が法律に基づいて負担する生活保護費や児童手当費などの扶助費や地方公共団体が行う道路建設事業や災害復旧事業などに対して、国が使途を特定して交付するものです。

平成21年度の予算額は57億9,746万円で、歳入全体に占める割合は、9.6%となっています。

平成21年度は、日立駅周辺地区整備事業や大久保中学校校舎改築事業などの大型普通建設事業に係る補助金の増加が見込まれるため、前年度予算額（51億3,594万円）と比較すると、6億6,152万円の増（12.9%）となっています。

エ 基金繰入金

基金繰入金は、建設事業や市債の償還など特定の目的に充てたり、予算全体の財源調整のために基金（市の預金）から繰り入れられるものです。

平成21年度の予算額は、59億6,147万円で、歳入全体に占める割合は9.8%となっています。

平成21年度に予定している多くの事業に充てる財源を確保するため、前年度予算額（36億6,476万円）と比較すると22億9,671万円（62.7%）の増となっています。

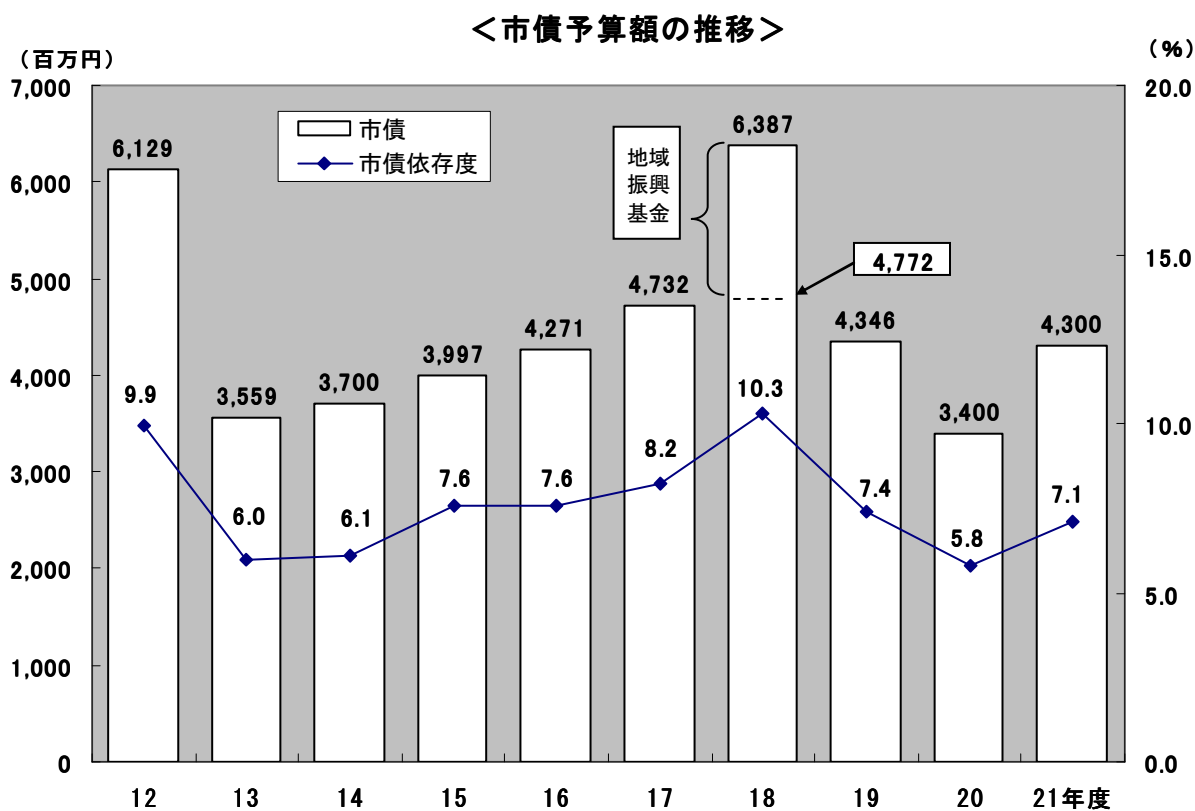
オ 市債

市債は、市が公共事業、災害復旧事業などの資金調達のために行う長期の借入金です。

平成21年度の予算額は43億20万円で、前年度予算額の34億20万円と比較すると9億円の増（26.5%）となっています。これは、学校教育施設の耐震化推進や臨時財政対策債の増額などによるものです。

市債依存度（歳入総額に占める市債の割合）は、前年度の5.8%から7.1%となっています。

なお、この市債の返還金は、翌年度以降に公債費として歳出予算に計上し、返還していきます。



(2) 歳出

平成21年度の歳出予算額について、款別（経費の目的・機能ごと）及び性質別（経費の性質・用途ごと）に見てみます。

ア 歳出予算の款別（目的別）内訳

歳出予算を款別に分類してみると、最も構成比の高いのは民生費で全体の27.2%、次いで土木費18.1%、総務費13.1%、公債費11.7%と続きます。

各費目の主な内容は、次のとおりです。

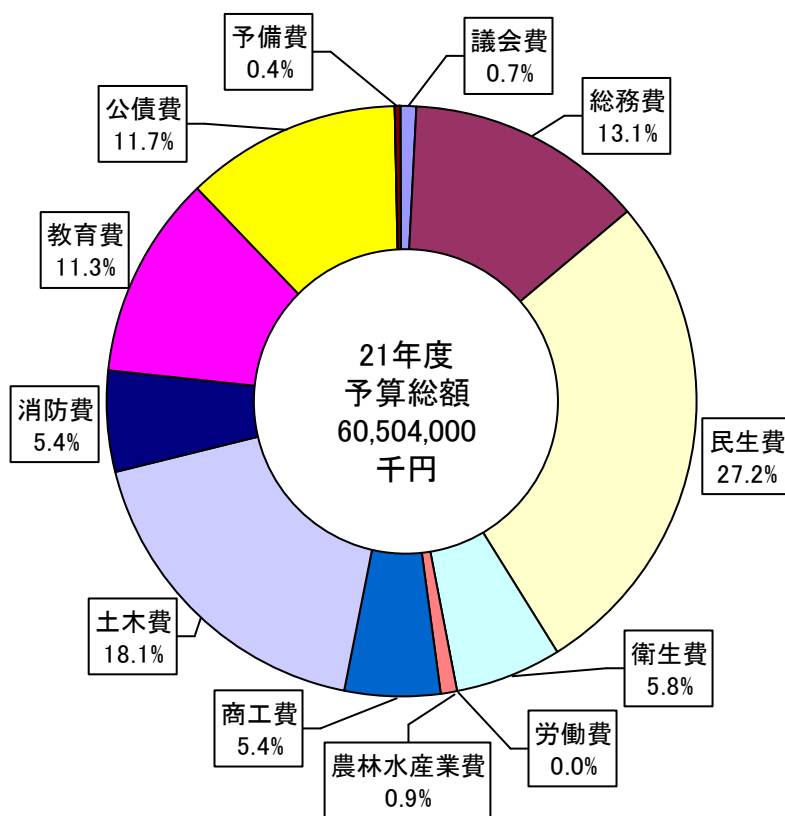
区 分	主 な 内 容
議会費	市議会議員の報酬、議会の開催費、議会事務局の運営費
総務費	庁舎の維持管理費、財産管理費、徴税费、統計調査費、戸籍・住民基本台帳管理費、監査委員費、企画費、市民運動推進費、防災対策費
民生費	社会福祉費、障害者福祉費、老人福祉費、児童福祉費、生活保護費、女性活動推進費
衛生費	保健衛生費、清掃費、環境保全対策費
労働費	勤労者福祉対策費、雇用安定対策費
農林水産業費	農業委員会費、農業・林業・水産業振興費、漁港費
商工費	商工振興費、計量検査費、観光費、奥日立観光施設費、温泉保養施設費、消費生活対策費
土木費	道路、河川、港湾、公営住宅、下水道、公園などの整備・管理費、地籍調査費、都市計画費、交通安全対策費
消防費	常備消防費、消防施設整備費
教育費	小・中・養護学校及び幼稚園の整備・管理費、社会教育費、保健体育費
公債費	市債の償還のための元金や利子、一時借入金の利子
予備費	予算の議決後に不測の事態が生じた場合に対処するための経費

<一般会計款別歳出予算の内訳>

(単位：千円)

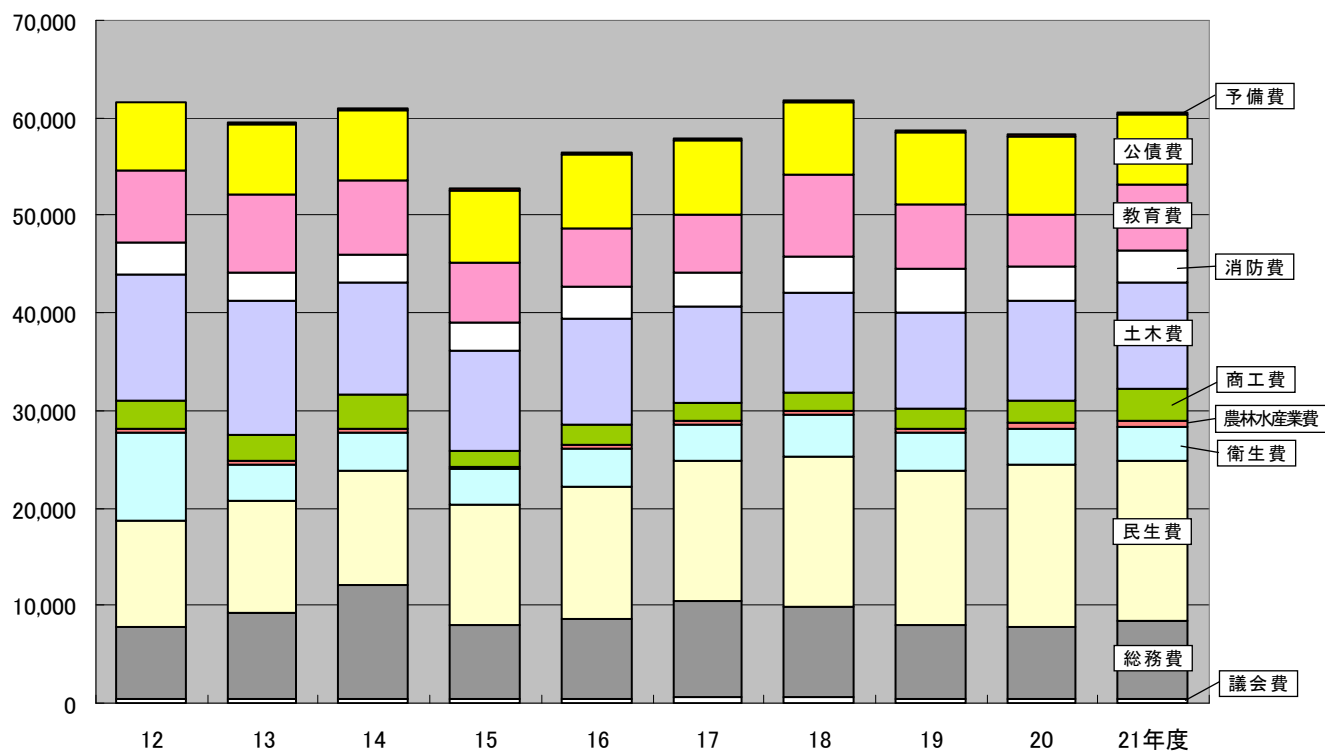
区 分	21年度当初			20年度当初			総額の 前年度比 (%)
	総 額	人件費	その他	総 額	人件費	その他	
議 会 費	421,542	373,597	47,945	419,409	370,584	48,825	100.5
総 務 費	7,915,289	3,454,819	4,460,470	7,394,458	3,456,425	3,938,033	107.0
民 生 費	16,468,101	2,014,921	14,453,180	16,620,190	2,066,631	14,553,559	99.1
衛 生 費	3,523,552	689,925	2,833,627	3,759,083	722,812	3,036,271	93.7
労 働 費	3,941	0	3,941	4,427	0	4,427	89.0
農林水産業費	521,955	210,227	311,728	586,608	199,716	386,892	89.0
商 工 費	3,280,648	315,110	2,965,538	2,185,182	287,698	1,897,484	150.1
土 木 費	10,920,950	1,693,693	9,227,257	10,375,573	1,779,627	8,595,946	105.3
消 防 費	3,267,652	2,955,106	312,546	3,397,817	2,971,209	426,608	96.2
教 育 費	6,828,767	2,607,739	4,221,028	5,447,684	2,643,468	2,804,216	125.4
公 債 費	7,101,603	0	7,101,603	7,802,569	0	7,802,569	91.0
予 備 費	250,000	0	250,000	250,000	0	250,000	100.0
総 額	60,504,000	14,315,137	46,188,863	58,243,000	14,498,170	43,744,830	103.9

＜歳出予算の款別（目的別）構成比＞



＜歳出の款別予算額の推移＞

(百万円)



イ 歳出予算の性質別内訳

歳出予算を性質別に大きく分類すると、「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」の3つに分けることができます。

義務的経費とは、人件費、扶助費及び公債費の合計で、組織の運営や法令などによりその支出が義務付けられているものであり、平成21年度予算額では316億5,971万円となり、歳出総額の52.3%を占めています。

これに対し、投資的経費とは、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費の合計で、その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等が将来に残るものに支出される経費であり、平成21年度予算額では80億3,574万円となり、歳出総額の13.3%を占めています。

次に、性質別予算を個々に見た場合、最も構成比が高いのは、職員給与費などからなる人件費で、歳出全体の23.4%（141億8,299万円）を占めています。

次いで、社会保障制度の一環として、生活に支援が必要な方への援助や、各種福祉サービスを提供する扶助費で、17.2%（103億7,522万円）となっています。

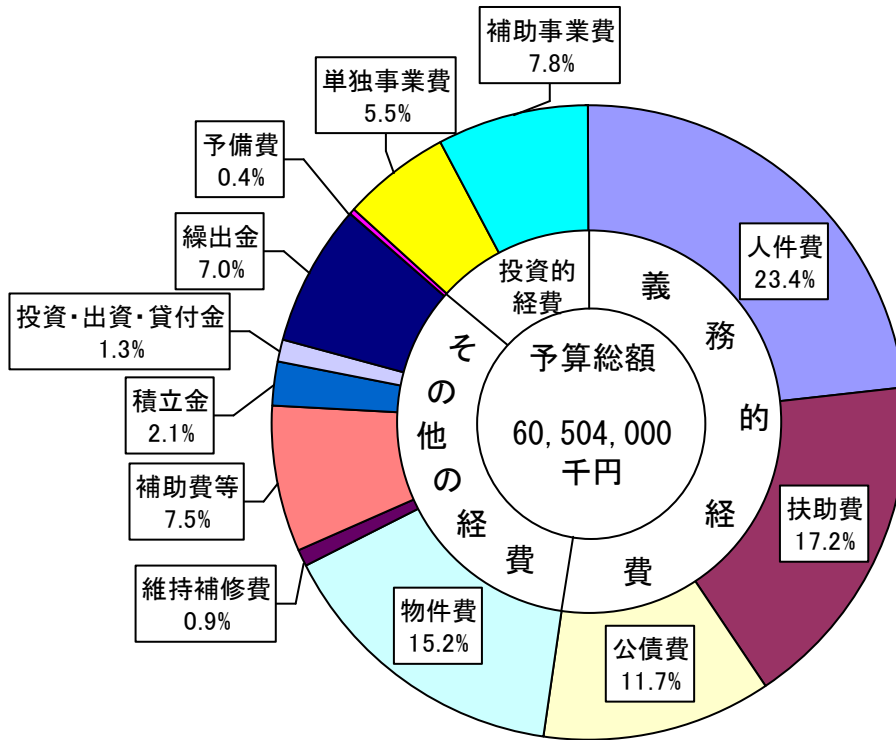
3番目に構成比率の高いのは、日常の業務に最低限必要かつ経常的な経費である旅費、物品の購入、光熱水費、各種業務に関する委託料や賃借料などに要する経費と選挙などの臨時的な性格を持つ経費を計上している物件費で、15.2%（91億9,143万円）となっています。

<一般会計性質別歳出予算の内訳>

(単位：千円)

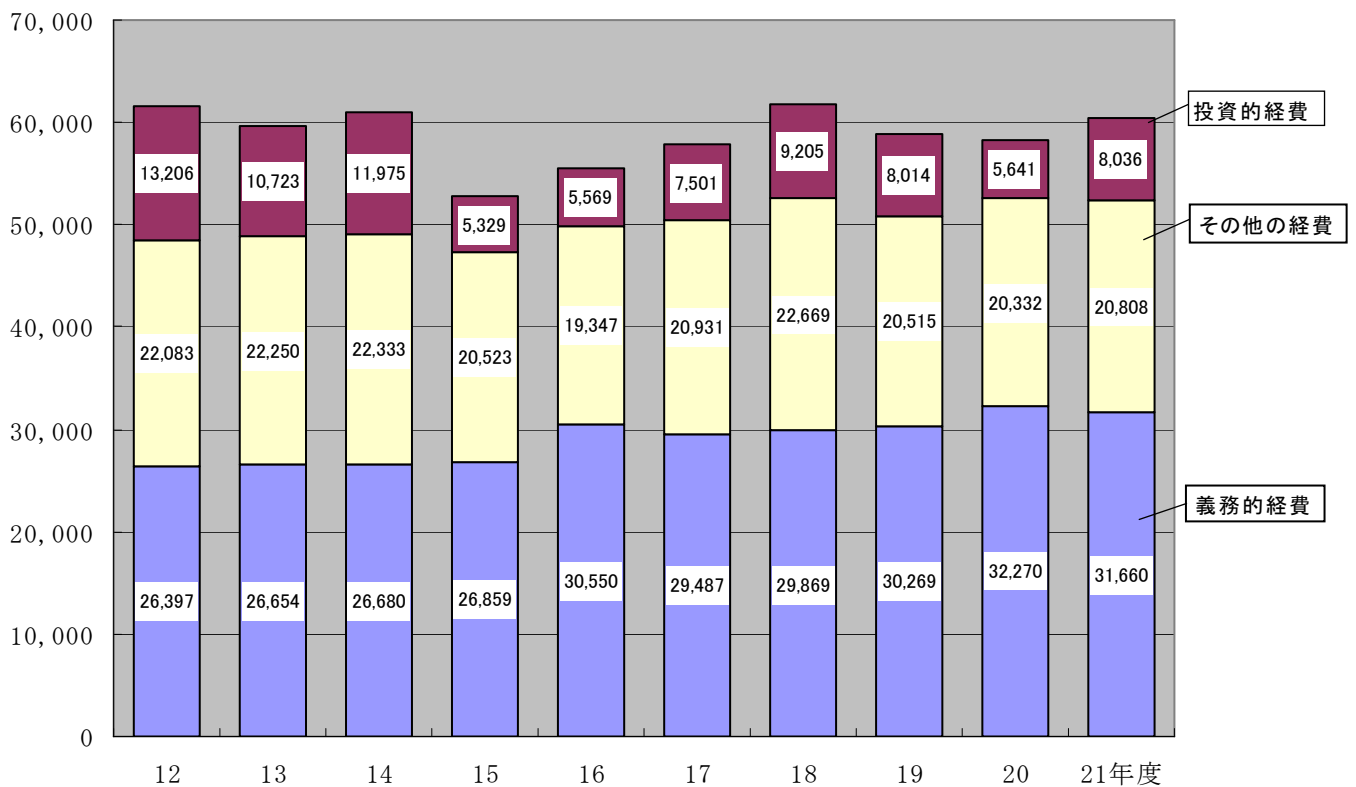
区 分	予 算 額		比 較	前年度比 (%)	構成比 (%)	
	21年度当初	20年度当初				
人 件 費	14,182,986	14,357,290	△174,304	98.8	23.4	
扶 助 費	10,375,215	10,110,005	265,210	102.6	17.2	
公 債 費	7,101,512	7,802,393	△700,881	91.0	11.7	
物 件 費	9,191,429	9,026,929	164,500	101.8	15.2	
維 持 補 修 費	514,967	523,208	△8,241	98.4	0.9	
補 助 費 等	4,554,902	4,390,269	164,633	103.7	7.5	
積 立 金	1,256,719	983,778	272,941	127.7	2.1	
投資及び出資金	8,700	13,100	△4,400	66.4	0.0	
貸 付 金	788,124	799,643	△11,519	98.6	1.3	
繰 出 金	4,243,710	4,345,568	△101,858	97.7	7.0	
普通建設事業費	8,035,736	5,640,817	2,394,919	142.5	13.3	
内 訳	補 助	4,704,900	2,082,075	2,622,825	226.0	7.8
	単 独	3,330,836	3,558,742	△227,906	93.6	5.5
予 備 費	250,000	250,000	0	100.0	0.4	
総 額	60,504,000	58,243,000	2,261,000	103.9	100.0	

＜歳出予算の性質別構成比＞



＜歳出の性質別予算額の推移＞

(百万円)



3 特別会計予算

特別会計は、特定の事業を行う場合又は特定の歳入をもって特定の歳出に充てる場合に、一般の歳入歳出と区別して別個に処理するための会計です。

平成21年度の特別会計の予算総額は281億208万円で、前年度の287億8,998万円と比較すると、6億8,790万円の減（△2.4%）となっています。各会計別の内容については、次のとおりです。

<平成21年度特別会計当初予算額>

(単位：千円)

会 計 名	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
国民健康保険事業	14,500,833	14,711,601	△210,768	98.6
動物園事業	404,589	289,916	114,673	139.6
簡易水道事業	235,397	175,251	60,146	134.3
公設地方卸売 市場事業	68,907	69,090	△183	99.7
老人保健事業	37,158	1,285,964	△1,248,806	2.9
介護保険事業	10,351,029	9,678,420	672,609	106.9
介護サービス事業	675,216	677,379	△2,163	99.7
戸別合併処理 浄化槽事業	42,957	35,011	7,946	122.7
後期高齢者 医療事業	1,620,165	1,726,382	△106,217	93.8
霊園事業	165,832	140,967	24,865	117.6
総 額	28,102,083	28,789,981	△687,898	97.6

国民健康保険事業

国民健康保険事業特別会計は、国民健康保険制度に基づく保険事業を円滑に運営するための会計です。

この会計は、主に保険の加入者が納める保険料と国、県及び市がルールによって、それぞれ負担することで賄われています。

平成21年度の予算額は145億83万円で、前年度予算額の147億1,160万円と比較すると2億1,077万円の減（△1.4%）となっています。

<国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
国民健康保険料	3,844,261	3,359,702	484,559	114.4
国民健康保険税	2,216	4,213	△1,997	52.6
使用料及び手数料	1	1	0	100.0
国庫支出金	3,892,623	3,754,608	138,015	103.7
療養給付費交付金	587,644	468,349	119,295	125.5
前期高齢者交付金	2,813,722	3,469,302	△655,580	81.1
県支出金	646,411	644,187	2,224	100.3
共同事業交付金	1,637,626	1,611,695	25,931	101.6
繰入金	1,055,903	1,369,183	△313,280	77.1
諸収入	20,426	27,764	△7,338	73.6
財産収入	—	2,597	△2,597	皆減
歳入合計	14,500,833	14,711,601	△210,768	98.6

2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
総 務 費	282,273	279,435	2,838	101.0
保 險 給 付 費	9,766,955	9,664,486	102,469	101.1
後期高齢者支援金等	1,829,106	1,753,084	76,022	104.3
前期高齢者納付金等	2,415	1,756	659	137.5
老人保健拠出金	221	338,870	△338,649	0.1
介 護 納 付 金	859,032	926,222	△67,190	92.7
共 同 事 業 拠 出 金	1,637,634	1,611,701	25,933	101.6
保 健 事 業 費	102,197	112,450	△10,253	90.9
諸 支 出 金	11,000	11,000	0	100.0
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0
基 金 積 立 金	—	2,597	△2,597	皆減
歳 出 合 計	14,500,833	14,711,601	△210,768	98.6

動物園事業

動物園事業特別会計は、かみね動物園を運営していくための会計です。

かみね動物園の運営費は、主に入場料収入と市税（一般会計からの繰入金）などで賄われています。

<動物園事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
使用料及び手数料	73,203	74,953	△1,750	97.7
繰 入 金	289,168	203,246	85,922	142.3
諸 収 入	42,218	11,717	30,501	360.3
歳 入 合 計	404,589	289,916	114,673	139.6

2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
動 物 園 費	401,589	286,916	114,673	140.0
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0
歳 出 合 計	404,589	289,916	114,673	139.6

簡易水道事業

簡易水道事業特別会計は、中里地区と諏訪大平田地区に給水するために設置されている簡易水道（水道により水を供給する事業のうち給水人口が5,000人以下である水道）の経費を賄うための会計です。

この会計は、主に受益者からの使用料と市税（一般会計からの繰入金）などで賄われています。

<簡易水道事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

（単位：千円）

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
分担金及び負担金	126	126	0	100.0
使用料及び手数料	38,832	31,232	7,600	124.3
国庫支出金	17,136	—	17,136	皆増
繰入金	77,398	143,574	△66,176	53.9
繰越金	1	1	0	100.0
諸収入	404	318	86	127.0
市債	101,500	—	101,500	皆増
歳入合計	235,397	175,251	60,146	134.3

2 歳出

（単位：千円）

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
簡易水道管理費	64,895	70,276	△5,381	92.3
施設整備事業費	138,583	—	138,583	皆増
公債費	31,919	104,975	△73,056	30.4
歳出合計	235,397	175,251	60,146	134.3

公設地方卸売市場事業

公設地方卸売市場事業特別会計は、小売店を通して、家庭で消費される野菜や魚などの食料品を安定的に供給する目的で設けられた市場を運営するための会計です。

この会計は、売上高に応じて納入される売上高使用料や施設使用料と、市税（一般会計からの繰入金）などで賄われています。

歳出予算には、市場を市民に開放して、市場への理解を深めていただくと同時に、市場の活性化を図るための「日立市場まつり」に対する補助金（60万円）も計上されています。

<公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

（単位：千円）

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
使用料及び手数料	31,565	31,408	157	100.5
財 産 収 入	66	70	△4	94.3
繰 入 金	19,730	19,911	△181	99.1
繰 越 金	1	1	0	100.0
諸 収 入	17,545	17,700	△155	99.1
歳 入 合 計	68,907	69,090	△183	99.7

2 歳出

（単位：千円）

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
総 務 費	65,907	64,090	1,817	102.8
予 備 費	3,000	5,000	△2,000	60.0
歳 出 合 計	68,907	69,090	△183	99.7

老人保健事業

老人保健事業特別会計は、主に75歳以上のお年寄りの医療費を支払うための会計です。老人保健制度は、後期高齢者医療制度への移行に伴い、平成20年3月31日をもって廃止されましたが、平成20年3月診療分までの月遅れ請求等が今後も見込まれることから、制度廃止後も3年間（平成22年度まで）は、老人保健事業特別会計は継続されます。

この会計は、社会保険診療報酬支払基金からの交付金のほか、国、県及び市の負担によって運営されています。

歳出予算については、その大部分が医療費に充てられます。

<老人保健事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
支 払 基 金 交 付 金	19,007	706,778	△687,771	2.7
国 庫 支 出 金	10,499	383,171	△372,672	2.7
県 支 出 金	2,624	95,792	△93,168	2.7
繰 入 金	3,028	97,223	△94,195	3.1
諸 収 入	2,000	3,000	△1,000	66.7
歳 入 合 計	37,158	1,285,964	△1,248,806	2.9

2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
総 務 費	401	1,427	△1,026	28.1
医 療 諸 費	36,757	1,284,537	△1,247,780	2.9
歳 出 合 計	37,158	1,285,964	△1,248,806	2.9

※ 平成21年度予算額は、老人保健制度の廃止に伴い大幅に減少しています。

介護保険事業

介護保険事業特別会計は、主に65歳以上のお年寄りなどが介護保険のサービスを受けた場合の費用を支払うための会計です。

この会計は、保険の加入者が納める保険料と社会保険診療報酬支払基金からの交付金のほか、国、県及び市の負担によって賄われます。

歳出予算については、保険給付費が総額の大部分を占めており、その他は、介護保険財政の安定運営のための基金への積立金、県が設置する財政安定化基金への拠出金及び介護認定審査会の運営費などとなっています。

<介護保険事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
保 険 料	2,021,082	1,861,373	159,709	108.6
分 担 金 及 び 負 担 金	1,391	1,402	△11	99.2
国 庫 支 出 金	2,082,515	1,976,263	106,252	105.4
支 払 基 金 交 付 金	2,951,213	2,840,019	111,194	103.9
県 支 出 金	1,495,577	1,399,728	95,849	106.8
財 産 収 入	3,844	3,835	9	100.2
繰 入 金	1,794,901	1,595,300	199,601	112.5
諸 収 入	506	500	6	101.2
歳 入 合 計	10,351,029	9,678,420	672,609	106.9

2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
総 務 費	316,357	316,455	△98	100.0
保 険 給 付 費	9,763,290	9,078,171	685,119	107.5
地 域 支 援 事 業 費	254,992	266,229	△11,237	95.8
保 健 福 祉 事 業 費	1,000	1,300	△300	76.9
基 金 積 立 金	3,844	3,835	9	100.2
諸 支 出 金	3,546	4,430	△884	80.0
予 備 費	8,000	8,000	0	100.0
歳 出 合 計	10,351,029	9,678,420	672,609	106.9

介護サービス事業

介護サービス事業特別会計は、介護保険制度に基づく居宅サービスや介護福祉施設サービスなど、市がいろいろな介護サービスを提供する事業を行うための会計です。

この会計は、保険者から支払われる給付費とサービスを受けた方が支払う負担金のほか、市税（一般会計からの繰入金）などで賄われます。

サービス事業の主な内容は、次のとおりです。

- ・通所介護事業（デイサービス）
- ・短期入所生活介護事業（ショートステイ）
- ・施設介護サービス事業（特別養護老人ホームほか）

<介護サービス事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

（単位：千円）

款	予 算 額		比 較	前年度比 （%）
	21年度当初	20年度当初		
サービス収入	592,337	559,004	33,333	106.0
繰入金	82,767	118,247	△35,480	70.0
諸収入	112	128	△16	87.5
歳入合計	675,216	677,379	△2,163	99.7

2 歳出

（単位：千円）

款	予 算 額		比 較	前年度比 （%）
	21年度当初	20年度当初		
サービス事業費	675,216	677,379	△2,163	99.7
歳出合計	675,216	677,379	△2,163	99.7

戸別合併処理浄化槽事業

戸別合併処理浄化槽事業特別会計は、中里地区に戸別合併処理浄化槽を設置することにより、し尿等を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るための会計です。

<戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
分担金及び負担金	1,778	1,845	△67	96.4
国庫支出金	7,649	5,454	2,195	140.2
県支出金	1,530	1,440	90	106.3
繰入金	10,767	9,829	938	109.5
繰越金	1	1	0	100.0
諸収入	7,332	6,542	790	112.1
市債	13,900	9,900	4,000	140.4
歳入合計	42,957	35,011	7,946	122.7

2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
浄化槽管理費	13,208	12,696	512	104.0
浄化槽整備事業費	26,960	19,702	7,258	136.8
公債費	2,789	2,613	176	106.7
歳出合計	42,957	35,011	7,946	122.7

後期高齢者医療事業

後期高齢者医療事業特別会計は、後期高齢者の保険料の徴収を円滑に行っていくための会計です。

<後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
後期高齢者医療保険料	1,361,864	1,459,966	△98,102	93.3
繰入金	257,355	266,390	△9,035	96.6
諸収入	946	26	920	3,638.5
歳入合計	1,620,165	1,726,382	△106,217	93.8

2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
総務費	30,051	25,744	4,307	116.7
後期高齢者医療広域 連合納付金	1,589,214	1,700,638	△111,424	93.4
諸支出金	900	—	900	皆増
歳出合計	1,620,165	1,726,382	△106,217	93.8

霊園事業

霊園事業特別会計は、東平、鞍掛山、十王、入野霊園の管理運営を円滑に行っていくための会計です。

この会計は、主に使用料及び手数料で運営されています。

<霊園事業特別会計歳入歳出予算の内訳>

1 歳入

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
使用料及び手数料	108,006	121,147	△13,141	89.2
財 産 収 入	852	765	87	111.4
繰 入 金	35,278	—	35,278	皆増
繰 越 金	21,695	19,045	2,650	113.9
諸 収 入	1	10	△9	10.0
歳 入 合 計	165,832	140,967	24,865	117.6

2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 額		比 較	前年度比 (%)
	21年度当初	20年度当初		
墓 地 事 業 費	135,907	111,980	23,927	121.4
公 債 費	8,168	8,334	△166	98.0
予 備 費	21,757	20,653	1,104	105.3
歳 出 合 計	165,832	140,967	24,865	117.6

4 企業会計予算

地方公営企業法を適用し、いわゆる企業会計方式により市が経営している事業は、水道事業、下水道事業、工業用水道事業の3事業です。

企業会計には経常的な経営活動を示すもの（収益的収入及び支出）及び建設改良事業等の資本的な収支を示すもの（資本的収入及び支出）があります。

企業会計の平成21年度当初予算額は、次のとおりです。

<平成21年度企業会計当初予算額>

（単位：千円）

会計名	科目	21年度当初	20年度当初	前年度比（%）
水道事業	収益的収入	3,844,264	3,721,951	103.3
	収益的支出	3,850,971	3,766,468	102.2
	資本的収入	1,496,162	822,260	182.0
	資本的支出	2,894,508	2,017,333	143.5
下水道事業	収益的収入	3,594,187	3,788,799	94.9
	収益的支出	3,572,448	3,768,742	94.8
	資本的収入	4,650,802	2,246,903	207.0
	資本的支出	5,812,482	3,388,248	171.5
工業用水道事業	収益的収入	15,647	16,748	93.4
	収益的支出	15,530	16,611	93.5
	資本的収入	—	—	—
	資本的支出	12,684	7,945	159.6
合計	収益的収入	7,454,098	7,527,498	99.0
	収益的支出	7,438,949	7,551,821	98.5
	資本的収入	6,146,964	3,069,163	200.3
	資本的支出	8,719,674	5,413,526	161.1

※ 収益的収支・資本的収支の差引不足額は、内部留保資金などで補います。

◇主な収入

【水道事業】

料金等 3,233,016千円

企業債 1,289,000千円（うち借換債 655,600千円）

【下水道事業】

使用料 3,035,442千円

一般会計補助金 1,479,552千円

企業債 2,772,900千円（うち借換債 2,190,600千円）

【工業用水道事業】

使用料 6,475千円

一般会計補助金 9,144千円

5 平成21年度の主な施策の概要

(1) 未来にのびゆくまちづくり（産業の振興）

<工業>

ア 企業立地の促進や企業活動の活性化を図るため、企業立地等促進条例に基づき、各種支援、奨励施策を進めるとともに、国の緊急保証制度や自治・振興金融制度を効率的に運用することにより、中小企業等の資金繰りの円滑化を図るほか、次代の中小企業を担う人材の確保や育成を進めながら、未来に向けてより強固な経営基盤の構築を支援していきます。

イ 日立南インターチェンジ周辺における事業用地の整備に着手するほか、後背地の土地利用検討調査を実施するなど、茨城港日立港区の港勢拡大に努めていきます。

ウ 10月に、若者の技能レベル日本一を競い合う「第47回技能五輪全国大会」が本市を中心に開催されます。一流の技を、特に若い世代が見学することで、将来のものづくりに携わる人材の育成につなげていきます。

エ 技能五輪に併せて「全国若手ものづくりシンポジウム」を開催するなど、「ものづくり都市・日立」の魅力を全国に向けて発信していきます。

<商業・流通>

ア 日立駅周辺地区の新たなにぎわいづくりに向けた検討を進めていくほか、がんばる商店街支援事業として、商業者自らが提案する活性化策を積極的に支援していきます。

イ 地域ブランドの創出については、商工会議所を始めとする関係団体との連携・協働により、固有資源を生かしつつ、日立ならではの商品の開発やサービスづくりを推進するとともに、新たな販路の開拓に努めていきます。

<農林業>

ア 森林湖沼環境税の活用事業として、森林の持つ水源かん養機能や山地災害防止機能を回復するための間伐事業を引き続き実施していきます。

イ 「たかはら自然体験交流施設」のオープンが7月に予定されています。グリーンツーリズムの拠点施設として様々な事業を展開することにより、交流人口の拡大に寄与するとともに、日立市の良さをアピールしていきます。

<水産業>

漁港整備事業として久慈漁港の防波堤を強化するため、構造設計及び消波ブロックの作製等を実施するほか、会瀬漁港内を浚渫するための事前調査として深淺測量を行うなど、国・県と連携しながら市内漁港の機能の維持・向上を図っていきます。

<観光>

ア 観光振興計画に基づいた各種施策を推進し、本市の観光資源でもある桜と産業資

産を十分に活用しながら、交流人口の拡大に努めていきます。

イ かみね公園については、動物園の入口施設を兼ねた「(仮称)かみね公園ふれあいプラザ」の整備を引き続き進めるとともに、象の放飼場の拡張整備事業を実施するなど、動物園の新たな魅力づくりに取り組んでいきます。

ウ 頂上展望台の周辺整備を行うなど、かみね公園全体の集客力向上と活性化に努めていきます。

～本施策の主な事業～

○企業立地等促進事業	554,964千円
○産業団地整備事業	647,251千円
○技能五輪いばらき大会開催事業	37,600千円
○全国若手ものづくりシンポジウム開催事業	1,000千円
○がんばる商店街支援事業補助	1,920千円
○地域ブランド創出事業	1,630千円
○森林機能緊急回復整備事業	42,140千円
○たかはら自然体験交流施設運営	17,011千円
○あわび栽培漁業推進事業	3,100千円
○かみね公園活性化事業	253,269千円

(2) 心の豊かさをはぐくむまちづくり(教育文化の振興)

<学校教育>

ア 確かな学力の育成のため、小学校5・6年生への外国語指導助手の充実を図るとともに、国際理解・英語活動の検討などを行っていきます。

イ 中学生の海外短期留学については、英語力だけでなく自立心やたくましさの育成が図れることなどから引き続き支援を行っていきます。

ウ 理科教育については、小学校における教科担任制を引き続き推進するほか、新たに企業OBなど地域の人材を活用して、理科室での実験、観察の授業充実を図るとともに、新学習指導要領に対応するため理科教材等の整備を進めていきます。

エ 社会経済情勢の変化に対応して、学校教材の手作り化などの見直しを進め、保護者の教材費等の負担の軽減に努めていきます。

オ 豊かな心と健やかな体の育成のため、プロジェクトチームを設置し、新たに子どもたちの体力・運動能力の向上を目指す施策の立案に取り組めます。

カ 学習環境の整備については、校舎では、大久保中学校の改築工事に着手するほか、

日高中学校の改築、会瀬小学校の大規模改造に向けた設計及び諏訪小学校の改築のための耐力度調査等を実施していきます。また、屋内運動場については、災害時の避難所としての役割も備えているので、早急に耐震化が図れるよう事業を進め、さらに、新たに幼稚園の耐震化優先度調査を実施していきます。

<生涯学習>

ア 図書館については、利用を促進するため、無休化を図り、市民の関心が高いテーマの本を企画展示するなど、気軽に利用できる、魅力ある図書館づくりを目指すとともに、新図書館施設の建設について、設計に向けた準備を進めていきます。

イ 就学前の子どもがいる家庭へは、家庭教育サポーターによる講座を開催するなど、啓発、相談を実施し家庭における教育力の向上を図っていきます。

<スポーツ・レクリエーション>

日立武道館を始めとしたスポーツ施設のあり方について、具体的な検討を行っていきます。

<青少年育成>

地域の子どもは地域が育てるという視点から、地域が主体となって、子どもたちに様々な体験の機会を与え、遊びや宿泊体験等を通じ「生きる力」をはぐくむ「地域わんぱく隊」を実施していきます。

<文化・芸術>

ア 引き続き市内を舞台とした映画づくりを全国から公募して本市のイメージアップを図るほか、吉田正音楽記念館では、開館5周年記念事業として吉田正記念オーケストラによるコンサートを開催するとともに、記念館の魅力を高めるため、吉田正氏と門下生の交流を紹介する企画展などを開催していきます。郷土博物館では、芸術に親しむ事業として、エミール・ガレなどの19世紀フランスの近代ガラス作品を展示する企画展を開催します。

イ シビックセンターでは、多用途ホール舞台照明の改修工事を行うなど、計画的な設備の更新により施設の良好な環境の維持に努めるほか、引き続き、ひたち国際大道芸や科学館の特別展などの自主事業を展開して、まちの活性化を図っていきます。

～本施策の主な事業～

○外国語指導助手配置事業	85,254千円
○中学生海外短期留学支援事業	5,747千円
○教科担任制推進事業	12,931千円
○未来を拓く科学大好き教育推進事業	2,500千円
○新学習指導要領教材整備事業	4,250千円

○大久保中学校校舎改築事業	1,120,325千円
○日高中学校校舎改築事業	59,050千円
○会瀬小学校校舎大規模改造事業	20,175千円
○諏訪小学校校舎改築事業	20,238千円
○耐震化推進事業	285,080千円
○幼稚園施設整備事業	17,241千円
○新図書館施設建設事業	1,085千円
○スポーツ施設あり方検討事業	1,163千円
○地域わんぱく隊事業	960千円
○吉田正記念事業	11,774千円

(3) 思いやりとふれあいのあるまちづくり（市民福祉の充実）

<高齢者福祉>

新たな「高齢者保健福祉計画」に沿って、既存事業の充実に努めるとともに、介護サービスの増加に見合った保険料を設定し、利用者のニーズに的確に対応しながら、健全な介護保険事業運営に努めていきます。

<障害者福祉>

知的障害者自活訓練の結果、地域の中で生活が可能である方を対象として、グループホーム運営事業を実施し、生活の支援を行っていきます。

<健康づくり>

ア 産科医師を確保し地域の母子医療体制を堅持するため、平成20年度から取り組んでいる産科医師確保などに対する財政支援を拡充し、その環境づくりを行っていきます。

イ 日立メディカルセンター看護専門学校の受験者を対象に地域推薦枠を確保するなど、看護師の養成支援に引き続き努めていきます。

ウ 「新・ひたち健康づくりプラン21」に基づき、子育て世代に地場産品や伝統食を紹介するなど、食育の知識や健康を守るための食生活の大切さを啓発していくとともに、乳幼児期から高齢期までのライフステージに合った健康づくり事業を展開します。

<社会保障>

ア 不妊治療費を新たに助成することとし、不妊に悩む夫婦の経済的、精神的負担の軽減を図るほか、多様化した保育ニーズに柔軟に対応し、保育園の待機児童解消の一助となっている認可外保育施設に対して、保育環境を整えるための経費助成を拡大します。

イ 国民健康保険事業については、後期高齢者医療制度の創設などの医療制度改正の影響によって生じる平成21年度以降の収支の不足を確保し、適正な事業運営を図るため、長期にわたり据え置いていた保険料を改定して対応していきます。

～本施策の主な事業～

○グループホーム事業	4,863千円
○地域医療体制確保事業	88,500千円
○食育推進事業	808千円
○不妊治療費助成事業	5,011千円
○認可外保育施設助成事業	1,368千円
○災害時要護者台帳作成事業	1,135千円

(4) 暮らしよいうるおいのあるまちづくり（市民生活環境の向上）

<環境の保全と創造>

ア 一般家庭や事業所に対して、新たに太陽光発電システムの導入を支援するほか、マイバック持参の取組を一層進め、ごみの発生を抑制するとともに、ひたち環境都市フェスタにおいて環境にやさしいまちづくりを市民に対して啓発するなど、全市的な低炭素社会の実現を目指していきます。

イ 100年後に数百本のさくらの巨木が鞍掛山を彩る山づくりを目指し、下草刈りなどの整備作業を市民・企業と協力しながら進めていくとともに、環境教育基金を活用して、子供たちが実施する環境活動を引き続き支援していきます。

ウ 市民の協力を得て、久慈川河川敷の一部に景観植物としての菜の花を植え、搾油して地域に還元し、廃食用油を再利用する菜の花エコネットワーク事業に着手します。

<廃棄物>

家庭から排出される廃食用油の拠点回収を行い、バイオディーゼル燃料を精製して公用車の燃料に活用するほか、可燃ごみに含まれている廃プラスチック類を分別して回収するプラスチック製容器包装回収箇所を増設するなど、引き続きごみの減量化・資源化に取り組んでいきます。

<公園・緑地>

引き続き公園里親制度の拡充等に取り組んでいくとともに、公園遊具の危険度について調査を行い、撤去・更新等の方針を定めていきます。

<生活道路>

市道3518号線の鮎川橋架け換えの工事に着手するほか、茂宮川に架かる群長橋について、老朽化が著しいことから、架け換えるため県と協議を進めていきます。また、市が管理するその他の橋梁については、老朽化を防止するために予防的かつ計画的な修繕を行い、橋梁の延命化を図るため、橋梁長寿命化計画を策定することとし、今年度については、所要の点検・調査などを行っていきます。

<河川・水路>

大川、北川の改修を行うほか、諏訪町、水木町地内などの排水路整備を行います。

<上・下水道>

ア 水道事業については、老朽化した送配水管の更新や森山浄水場における中央監視制御装置の更新事業を計画的に進めるとともに、簡易水道事業の上水道事業への統合に向け、中里地区の簡易水道の整備に着手します。

イ 下水道事業では、池の川処理場の消化槽設備改築を引き続き行うとともに、雨水整備に関する組織の強化を図り、瀬上川及び泉川流域について雨水管渠築造工事などを行うほか、新たに大沼川流域についても事業認可を得ながら、雨水管渠実施設計を進めるなど整備に努めていきます。

<消防・救急>

ア 災害時において緊急情報システムを維持するために必要な電源装置の更新や防火水槽の改修工事を行い、消防力の充実強化に努めます。

イ 救急救命士の養成を進めるとともに、公共施設へ計画的に配置しているAED（自動体外式除細動器）については、さらに交流センターや福祉施設などにも配置して、救命体制の強化を図ります。

<防災>

ア 戸別受信機の未整備地区への配置を計画的に進め、災害時の情報伝達体制の強化を図っていきます。また、十王川と茂宮川の浸水想定区域や避難場所等を周知するため、洪水ハザードマップを作成するほか、「安全・安心・住まいる助成事業」を引き続き実施します。

イ 災害時に避難所として指定されている豊浦体育館と日高体育館の耐震診断を実施し、計画的に施設の安全性を確保していきます。

<防犯>

自警団と関係機関が互いに防犯情報を共有できる情報誌の発行や自警団の活動内容等を示した防犯ハンドブックを作成するなど、自警団のより活発な活動を支援するとともに、地域と関係機関が一体となった防犯体制の充実を図っていきます。

<交通安全>

十王駅前自転車駐車場の移設工事を行うとともに、自転車等の放置禁止看板の増

設、改修工事を行い放置自転車対策の推進を図ります。

<消費生活>

近年振り込め詐欺を始めとして市民が巻き込まれる事件や悪質商法が増加し、その手口も巧妙なものとなってきています。消費生活センターに寄せられる相談事例や対処法を周知するポスターを掲示するなど、消費生活啓発事業を推進し、引き続き被害やトラブルの未然防止に努めます。

<墓地・葬祭場>

南部地区での需要に応じ、地域住民の利便性の向上を図るため、民間活力を活用しながら（仮称）南部地区葬祭場の整備を進めていきます。

～本施策の主な事業～

○新エネルギー普及促進事業	10,100千円
○鞍掛山のさくらの山づくり事業	1,582千円
○菜の花エコネットワーク事業	974千円
○大川改修事業	58,000千円
○救急救命士資格取得事業	5,520千円
○自動体外式除細動器整備事業	4,708千円
○簡易型戸別受信機整備事業	61,995千円
○防災体制整備事業	16,905千円
○安全・安心・住まいる助成事業	10,743千円

(5) 魅力とにぎわいのあるまちづくり（中核都市の基盤整備）

<市街地整備>

ア 日立駅自由通路及び駅舎橋上化工事については、本年1月から杭・基礎工事に着手しましたが、今年度は、本格的な工事の推進を図っていきます。併せて清水鮎川線及び東口交通広場の工事を進めるとともに、駅東側の街並み整備を行うほか、現中央口駅舎の跡地活用についても、民間活力の活用による施設整備を行うため、事業プロポーザルを実施し、まちのにぎわいの創出を図っていきます。

イ 常陸多賀駅の駅前広場については、整備後50年が経過していることから、老朽化やバリアフリー化などへの対応の課題を整理し、事業化に向けた準備を行っていきます。

ウ 大甕駅周辺地区についても、東西地区の一体性や周辺交通体系の確立が図られる

整備に向け検討を進めていきます。

エ 旧日立電鉄線の跡地の活用では、一部をバスの専用レーンなどに整備することを柱とする整備基本構想の策定を進め、旧久慈浜駅跡地については、図書館施設などの整備を中心に検討していきます。

<交通体系>

ア 長期未着手の都市計画道路について、国・県とも協力し、地域住民の意見も聴取しながら順次見直し作業を行っているところです。これらの再検討作業を踏まえ、国道6号日立バイパスの旭町以南への延伸等について、早期事業化が図られるよう、引き続き国・県に対して強く要望していきます。

イ 国道6号大和田拡幅事業や山側道路についても、早期に整備が図られるよう国・県に対して要望していくとともに、市が進めている石名坂多賀線改築事業については、国道6号及び県道日立港線と取り付くことから、国・県と調整を図りながら事業を進めていきます。

ウ 市が整備を進めています金沢諏訪線、中所沢川尻線、屋敷前・風早線、友部・伊師浜線、本郷前線など、市内主要幹線の各路線については、関係者の協力を得ながら事業の推進を図っていきます。

エ 平成19年度から坂下地区において乗合タクシーの運行を支援し、平成20年度は諏訪地区、中里地区において、地区の実情に合わせた運行方法による公共交通の実証運行を行ってきました。これらの地区の利用者から寄せられた意見を踏まえ、引き続き地区の生活を支える移動手手段の確保策の検討を進めていきます。

～本施策の主な事業～

○日立駅周辺地区整備事業	2,071,509千円
○日立駅東側市街地街なみ再生事業	49,842千円
○常陸多賀駅前広場再整備事業	21,016千円

(6) ひびきあうみんなのまちづくり (計画実現のために)

<コミュニティ活動>

防犯、防災、環境美化、地域福祉など市民生活に係る多くの分野において、地域性を生かしたコミュニティ活動が展開されています。このような自主的な取組に対して引き続き支援を行い、安心して暮らせる住みよいまちづくりを進めていきます。

<市民の多様な活動>

市制70周年の記念式典を開催するとともに、ひたち秋祭りなどを冠事業に位置

付けた記念イベントを実施していきます。

<男女共同参画社会づくり>

事業者を対象としたトップセミナーを開催し、男女が働きやすい環境づくりについて意識啓発を図るなど、各種事業を推進することにより、仕事と家庭・地域生活を両立できる環境整備に努めていきます。

<健全な財政運営>

財政運営については、財源的にも一段と厳しさが増すと予想されることから、歳出削減と併せて、市税等の収納率の向上や資産を有効に活用し、財源確保に努めるとともに、既存の取組にとらわれず、新たな財源の確保について検討していきます。

<行政の管理運営>

ア 「人材育成計画」に基づき、各種職員研修の充実を図るとともに、国・県等への実務研修生の派遣については、新たに北海道夕張市へ職員を派遣するなど、より一層職員の職務遂行能力の向上と時代の変化に対応できる職員づくりに努力していきます。

イ 今年度が現在の第4次行財政改革大綱の最終年度となりますので、その目標達成に努めるとともに、引き続き行財政改革の推進を図るため、新たに第5次の行財政改革大綱を策定していきます。

～本施策の主な事業～

○ボランティア情報相談コーナー運営	1,892千円
○まちづくり大学講座開催事業	894千円
○市制施行70周年記念事業	16,090千円
○男女共同参画推進事業	4,628千円

6 平成20年度予算に対する下半期収入支出の状況

(1) 一般会計

一般会計の平成21年3月31日現在の款別歳入予算の収入状況と款別歳出予算の支出状況は、次表のとおりです。

<平成20年度一般会計款別歳入予算額と収入状況>

(平成21年3月31日現在)

区 分	予算現額 千円	収入済額 千円	収入割合 %
1 市 税	30,736,139	30,670,757	99.8
2 地 方 譲 与 税	673,000	467,559	69.5
3 利 子 割 交 付 金	95,000	113,090	119.0
4 配 当 割 交 付 金	36,000	39,079	108.6
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	14,000	17,949	128.2
6 地 方 消 費 税 交 付 金	1,800,000	1,896,340	105.4
7 ゴルフ場利用税交付金	44,000	38,492	87.5
8 自動車取得税交付金	274,000	277,604	101.3
9 地 方 特 例 交 付 金	348,110	348,110	100.0
10 地 方 交 付 税	4,013,807	4,405,208	109.8
11 交通安全対策特別交付金	50,000	45,988	92.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	649,680	603,672	92.9
13 使 用 料 及 び 手 数 料	2,543,942	2,444,788	96.1
14 国 庫 支 出 金	9,397,890	5,144,362	54.7
15 県 支 出 金	2,707,817	1,433,333	52.9
16 財 産 収 入	342,530	348,169	101.6
17 寄 附 金	30,116	30,114	100.0
18 繰 入 金	2,909,965	1,351,586	46.4
19 繰 越 金	2,189,521	2,189,521	100.0
20 諸 収 入	1,982,437	1,975,701	99.7
21 市 債	3,669,100	42,100	1.1
計	64,507,054	53,883,522	83.5

<平成20年度一般会計款別歳出予算額と支出状況>

(平成21年3月31日現在)

区 分	予算現額	支出済額	支出割合
1 議会費	419,911 ^{千円}	409,402 ^{千円}	97.5%
2 総務費	11,196,262	6,843,718	61.1
3 民生費	16,661,294	12,806,864	76.9
4 衛生費	3,760,269	2,993,752	79.6
5 労働費	4,427	1,402	31.7
6 農林水産業費	870,114	456,446	52.5
7 商工費	2,224,081	1,827,033	82.1
8 土木費	11,597,970	9,068,281	78.2
9 消防費	3,368,278	3,190,770	94.7
10 教育費	6,512,878	5,019,464	77.1
11 公債費	7,786,767	7,784,164	100.0
12 予備費	104,803	0	0.0
計	64,507,054	50,401,296	78.1

(2) 特別会計

特別会計の平成21年3月31日現在の予算額及び収入支出の状況は、次表のとおりです。

それぞれの会計の性質及び内容により、その執行状況も異なりますが、市は、事業の性質に応じて効率的に執行するよう努めています。

<平成20年度特別会計予算額と収入支出の状況>

(平成21年3月31日現在)

会 計 名	予算現額	執 行 状 況			
		収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
国民健康保険事業	千円 14,553,919	千円 10,659,585	% 73.2	千円 13,099,068	% 90.0
動物園事業	295,166	89,384	30.3	278,196	94.3
簡易水道事業	175,451	31,979	18.2	160,000	91.2
公設地方卸売市場事業	73,942	47,561	64.3	63,406	85.8
老人保健事業	1,511,763	1,252,395	82.8	1,373,699	90.9
介護保険事業	9,820,130	7,887,187	80.3	8,690,748	88.5
介護サービス事業	672,842	490,960	73.0	665,932	99.0
戸別合併処理浄化槽事業	31,466	9,616	30.6	17,897	56.9
後期高齢者医療事業	1,726,786	1,598,745	92.6	1,597,275	92.5
霊園事業	155,866	159,033	102.0	52,010	33.4
合 計	29,017,331	22,226,445	76.6	25,998,231	89.6

7 市民の市税負担の状況

市の財政は、市民の皆さんの直接・間接の負担によって賄われています。なかでも市税は、市の財政を運営していくために基盤となる最も重要な歳入であり、市は、常に適正で公平な負担に努力しております。

平成21年度の予算額は290億7,418万円となっており、市民の皆さんの負担額を世帯、人口の平均で表すと、下表のようになります。

<市民の税負担の状況>

税目	区分	平成21年度予算額	1世帯当たり負担額 (年額)	1人当たり負担額 (年額)
		千円	円	円
	直接税	27,876,177	358,232	143,816
	市民税	12,702,000	163,231	65,531
	固定資産税	12,635,391	162,375	65,187
	軽自動車税	275,000	3,534	1,419
	都市計画税	2,262,000	29,069	11,670
	鉦産税	1,786	23	9
	間接税	1,198,000	15,395	6,181
	市たばこ税	1,162,000	14,933	5,995
	入湯税	36,000	462	186
	計	29,074,177	373,627	149,997

(注) 世帯数77,816世帯、人口193,832人(H21.4.1現在常住人口)